

（表）

平成28年2月5日

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地域みんなでまちづくり会議の内容について次のとおり報告します。

地区名	第八小学校通学地域	報告者氏名	雨宮 則和
開催日時	平成28年2月4日（木） 午後7時から8時40分まで		
会場	残堀・伊奈平地区会館 学習室		
参加者	市長の出席（ 有 無） 市民9名、地域担当職員1名 合計10名（うち男性8名 女性2名）		
（議題等）			
1 次年度に向けた具体的な方針の検討			
2 その他			
(1) 次回検討事項について			
(2) 次回の開催日について			
（結論（決定した方針、解決すべき課題、保留事項等））			
1 次年度に向けた具体的な方針の検討			
(1) 平成28年6月10日（金）開催予定の八小のセーフティー教室に参加する。			
(2) セーフティー教室の保護者用の枠を主として、他の時間帯の参加も可能な範囲で行う。			
(3) セーフティー教室参加に向け、自治会や老人クラブに声掛けを行う。			
2 その他			
(1) 八小のセーフティー教室の参加に向け、詳細を調整する。			
(2) 平成28年4月27日（水）			
(3) 各団体からの告知及び依頼			
ア 八小から、フレッチャタイムへの協力依頼。			
イ 社会福祉協議会から、のぞみ祭り（3月12日（土））の告知。			
（会議の内容）			
1 次年度に向けた具体的な方針の検討			
○ 前回の会議を踏まえ、八小のセーフティー教室に参加する方向で調整したい。			
○ セーフティー教室の内容			
	（対象）	（時限）	（テーマ）
	1・2年	2（ 9：05～ 9：50）	不審者に対したとき、どう行動するか。
	3・4年	3（ 9：55～10：40）	万引き防止
	保護者	中休み（10：40～11：00）	
	5・6年	4（11：00～11：45）	ソーシャルネットワーク（携帯電話等）
※1 警察の協力により実施			
※2 土曜日を希望したが、警察との調整により、来年度は金曜日となった。			

(裏)

○ 5時限に、地域住民に対する時間を設けることを警察に打診することも可能である。 →5時限の実施に際しては、相応の参加者数が必要ではないか。 保護者は授業を参観するため、参加の期待薄。 ⇒今回は、中休みに参加することに決定し、2～4の時間帯も可能な範囲で参加を求める。						
○ 児童との交流を図る方法として、一緒に給食を食べる方法もある。 ⇒今回は、見送り。						
○ 参加者の交流を図る方法として、ゲーム的な要素を取り入れることも考えられる。 ⇒時間の関係から、今回は見送り。						
○ 自治会や老人会への参加呼びかけを行う。						
○ 八小を取り巻くコミュニティとして、この会議のほか、コミュニティスクール、五中学校区コミュニティがあり、学校にとっては好ましいこと。						
○ 八小児童は、むかし遊びを通じて、地域住民の方にお世話になった。						
○ 地域住民の学校の関わり方として、集団下校時のサポートやスポーツテストの際の計測や砂場ならし等もある。						
○ 児童は、「知らない人についていかない」という教育が徹底されているが、学校内での交流や交流回数を重ねれば、打ち解けることができる。						
○ 登校時は、見守りがあるが、下校時が手薄である。この会議の構成員が腕章をつけて巡回し、児童の安全・安心を確保する方策もある。 ⇒実現したら、学校で紹介する。						
2 各団体からの依頼・告知						
(1) 第八小学校						
フレッチャタイムを実施してから、7～8年になるが、講師の高齢化が進み、やめていかれる例が後を絶たない。手芸担当も一人となっている。年間20回(月曜日)14:30～15:30であるが、皆さんの協力を求めたい。例えばグランドゴルフは、2～3名ずつの交代でもよいと考える。紙飛行機、コマ回し、囲碁将棋、パソコン等、様々なメニューが考えられる。						
(2) 社会福祉協議会						
のぞみ祭り 3月12日(土)10時～14時 多くの方の来場をお待ちしている。						
(次回予定)						
日 時 平成28年4月27日(水)午後7時(役員会は午後6時)						
会 場 残堀・伊奈平地区会館 集会室						
議 題 等 八小セーフティー教室の参加に向けた調整						
(地域担当職員)			(協働推進課)			(協働推進課処理欄)
班員	副班長	班長	担当	主査	課長	

